

若者の対する支援（こども・若者計画）

【健康と安心・安全】

- ・ 思春期保健対策の充実
- ・ 犯罪、事故、災害から安全を守る

【若者の交流・活動の促進】

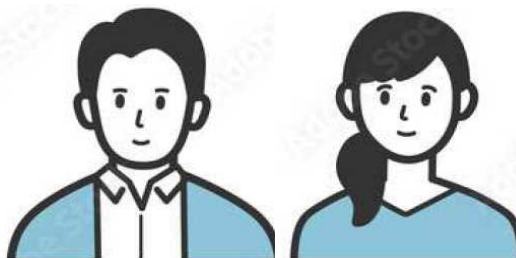
- ・ 地域コミュニティへの参加
- ・ 若者の交流促進

【困難を有する若者】

- ・ 若者の自殺対策

【若者の定住と就業支援】

- ・ 移住・定住の促進
- ・ 就労環境の整備
- ・ 住環境の支援



【結婚を希望する若者への支援】

- ・ 住宅支援
- ・ 就労環境の整備
- ・ 経済的負担の軽減

【出会いの創出】

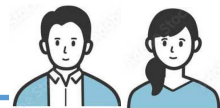
- ・ AIマッチングアプリの活用
- ・ 縁結び（若い方）

【地域全体で結婚を応援】

- ・ 魅力ある職場環境づくり
- ・ 男女共同参画の推進

◎若者に対する支援のうち、次のテーマについて3グループで話し合い

- ①若者の定住に向けて
- ②若者の交流・活動促進に向けて
- ③結婚支援について



若者の対する支援（こども・若者計画）

【若者の定住と就業支援】

- ・移住・定住の促進
- ・就労環境の整備
- ・住環境の支援

【前提条件】

- ・企業誘致、大学誘致は除く
- ・実現可能性のあるもの

【目標】（目指す姿）

- ◎大学に進学した若者が大野で就職し、大野に住む（帰ってくる）
- 大学に進学した若者が近隣市で就職し、大野に住む（帰ってくる）

【現状（ニーズ）】

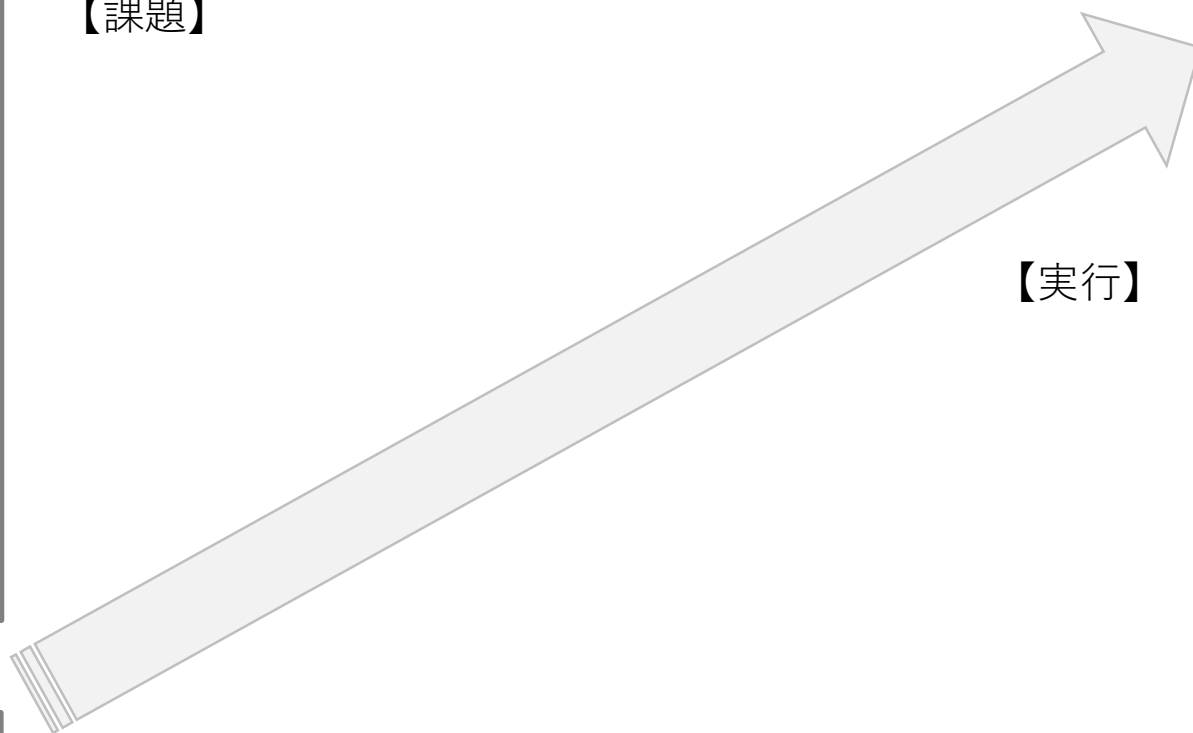
- 地元で就職を希望するが職種が限られており、自分の希望する職種に就けないので、市外で就職している。
- 地元企業の情報発信されているようであるが、十分情報が得られていない。企業の雰囲気、どのような人が働いているといった情報も欲しい。
- 実際に企業説明会のような機会に、人事担当の方と話しをして、その人に惹かれて就職した。
情報だけでは伝わらない部分もある。情報だけだと良い面があっても、逆に悪い情報ばかりが広く伝わってしまう。
- 賃貸住宅はファミリー向けがほとんどで、ひとり暮らし用の賃貸住宅が少ない。

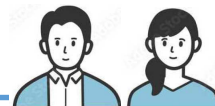
【課題】

【現状】（現在の姿）

- ◎大学進学を機として、若者の人口流出が多い

【実行】





若者の対する支援（こども・若者計画）

【若者の交流・活動の促進】

- ・地域コミュニティへの参加
- ・若者の交流促進

【前提条件】

- ・市民や団体が実施するなど協働につながるもの

【目標】（目指す姿）

- ◎大野に住む若者同士の交流が増え、友だちが増える
- 大野に住む若者と大野市出身の若者との交流が増える

【課題】

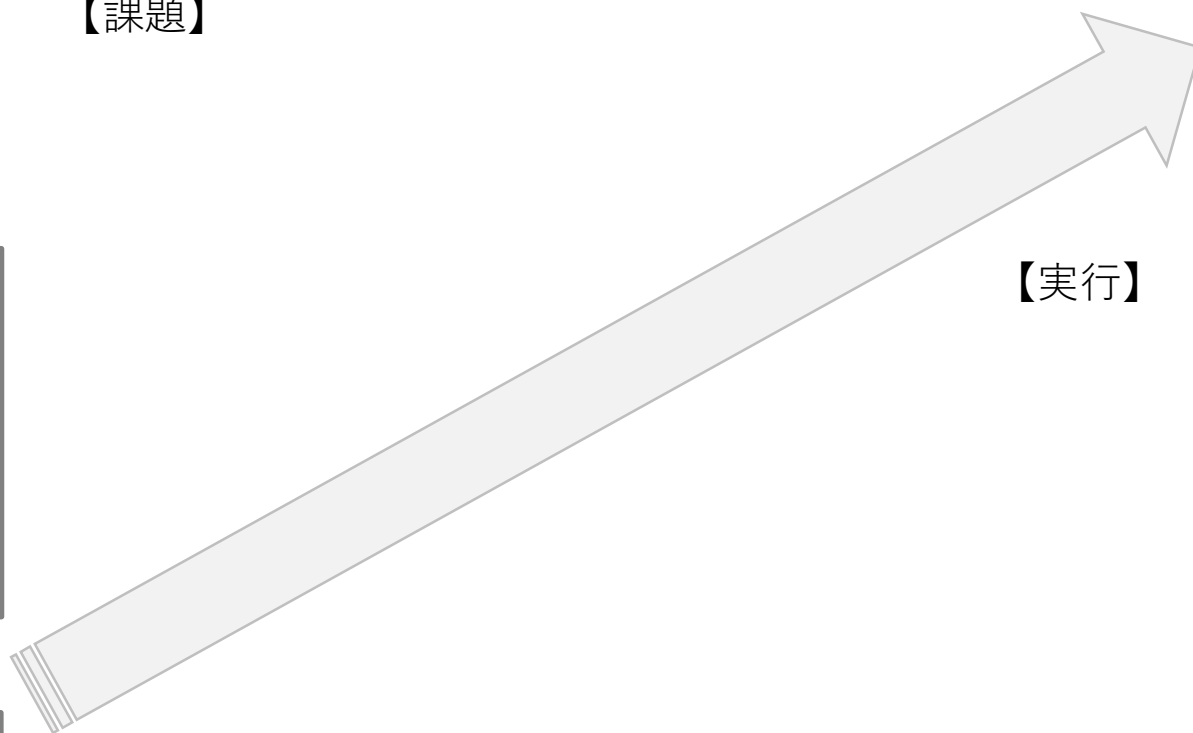
【現状（ニーズ）】

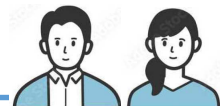
- 仕事から帰宅し、友達としゃべろうとしたときに開店している店舗が限られており、気軽に集える場所がない。
- 今は、イベントとかが無いと出会いが無い状態であるが、イベントに参加する若者が限られており、いつも同じメンバーのように感じる。
- 同じ趣味、目的を持った集まりがいい。

【現状】（現在の姿）

- ◎若者同士の交流の広がりが無い

【実行】





若者の対する支援（こども・若者計画）

【結婚支援】

- ・ 出会いの創出
- ・ 結婚の後押し（助成）
- ・ 結婚を後押し（社会）

※結婚を希望する若者に限る

【前提条件】

- ・ 祝金の支給は除く

【目標】（目指す姿）

- ◎結婚して大野に住む若者が増える
- 結婚を機に居住地として大野を選ぶ

【課題】

【現状（ニーズ）】

- イベントでなくても、気軽に若者が集える場所があれば、勝手に出会いが生まれるのではないかな。
- タイムパフォーマンスを考えると、AIによるマッチングアプリの活用も有効である。
- 縁結びなどの支援をしてもらえるのはありがたいが、40代～50代で縁結びしてもらえると相談に乗ってもらいたい。

【現状】（現在の姿）

- ◎結婚の希望が叶わない若者がいる

【実行】

